

利用・用途・応用分野

無料開放特許

ナルトビエイによるアサリの食害を素早く検知するためのモニタリングシステム

目的・課題

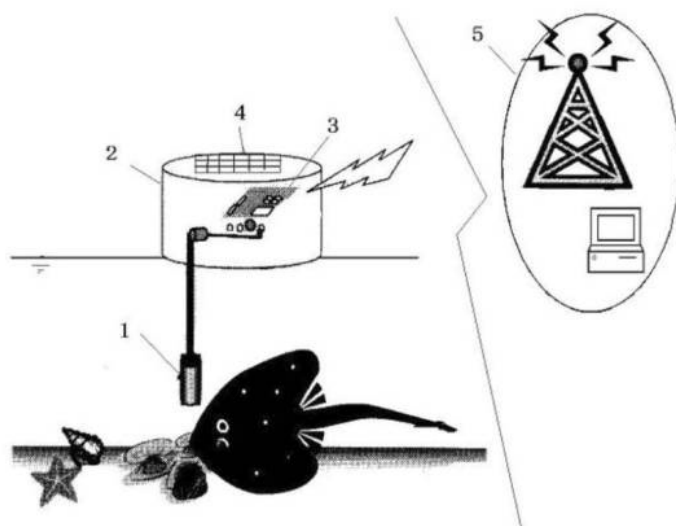
海産物の漁獲高の激減は、アサリ等の海産物を捕食する動物の大量発生による食害がある。アサリなどの2枚貝のナルトビエイによる食害が指摘され、アサリが全滅して漁獲高がゼロとなった地域も報告されている。事前に適切な対策ができず後手に廻っており、海産物の食害の発生を阻止することが困難であった。

解決ポイント

ナルトビエイが2枚貝を捕食する際には、尖った口を有し、顔を砂に突っ込んでアサリをくわえ、頑強なアゴで殻を割って身だけを食べて殻は口から吐き出す。貝殻を粉砕する破碎音を捉え、食害の発生を検知する。貝殻が噛み砕かれる際の破碎音の発生分布と頻度をモニタリングできるシステムである

研究概要・アピールポイント

食害が発生する可能性海域にて食害の発生を初期の段階で検知し、大きな被害が発生する前にナルトビエイを駆除すれば、効率よく食害を防止することが可能となる。



- 1 ハイドロフォン
- 2 ブイ
- 3 送信機
- 4 太陽電池
- 5 基地

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp